

(様式2)

4 学校教育計画

項 目		目標・方針及び計画	
1	学習活動	目標	<ul style="list-style-type: none">生徒の学習意欲を高め、学習内容の理解を深めることにより、確かな学力を身に付けさせる。ビジネスに関する基礎的・基本的な知識や技術を確実に習得させるとともに、生徒の多様な個性を伸長させる。検定や資格取得の指導を充実させ、進路実現に役立てる。教科指導をとおして、生徒自らが「学びたい」と思えるような魅力ある学校づくりを目指す。模擬株式会社の運営や、量販店での現場実習ならびに企業・地域の商店におけるインターンシップなど、実践的体験学習の充実を図る。
		計画	<ul style="list-style-type: none">教務部と各教科主任が連携し、取組内容についての共通理解を図る。<u>各教科において互見授業を実施し、他教科の教員も参加する。</u>教科部会において、学習指導に関する研究を行う。<u>生徒が、学習に関して、わからないことや他の意見・考えを友達同士で教え合う「生徒学び合い週間」を定め、学び合いを促進する。</u>生徒の学習に対する取り組み方や授業内容の理解度、満足度に関する状況調査をアンケート方式で行う。<u>検定・資格の取得目標をしっかりと持たせるとともに、補習授業を実施するなど指導の徹底を図る。</u>「専門技術者等特別講師招聘事業」により、地域で活躍する専門家を招聘し、「生き方」「職業観」「専門的知識」について学ぶ。<u>体系的な販売体験学習として、学校デパート形式による「模擬株式会社 TO MI SHOP」に取り組む。</u>「現場実習」「インターンシップ」により、社会の変化に対応した就業体験学習を行う。
		重点1①	
		重点1②	
		重点5	
		重点6	
2	学校生活	目標	<ul style="list-style-type: none">商業教育や交通安全・IT・性教育・薬物乱用防止等の講話の中で社会人になるためのルールやマナーの遵守、挨拶、礼儀等の基本的な態度を身につけさせるとともに、規範意識の醸成を図り、いのちを守り、お互いを思いやる態度を身につけさせる。生徒全員が、学校における充実した教育活動に取り組めるよう、いじめの未然防止、早期発見を図り、いじめを認知した場合には迅速かつ適切に対応できるよう、いじめ対策委員会(仮称)を組織し、保護者や地域との連携を図りながら対応できるようにする。健康な生活のできる人間をめざしている学校保健の目的を達成するために、自ら健康を考える意識と態度を育成する。生徒の健康・栄養指導の推進を図るとともに、食堂(2階)利用の正しい理解と態度を養う。また、富商会館(1階)の適切な維持運営を行う。
		計画	<ul style="list-style-type: none">挨拶の大切さと意義を十分理解して、儀礼的ではない自然に出てくる挨拶を身に付けさせる。月1回の頭髪服装検査を実施し、きまりや基準のもつ本質を理解させ端正な頭髪と服装を目指す。<u>交通安全・IT・性教育・薬物乱用防止講話や、さわやか運動、街頭指導などを通して、ルールやマナー、規範意識の向上を目指す。</u><u>「富山商業高校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめに対する生徒・教職員・保護者・地域の意識統一を図り、いじめの無い学校生活を目指す。</u>定期健康診断、体力測定を適切に計画し実施する。対象者の罹患歴及び予防接種歴を確認し、未罹患かつ未接種の者に対し、接種勧奨を行う。特に、麻しん(はしか)予防接種の未接種者に対する積極的勧奨を行う。<u>事故発生率を減らすための危険予知力や回避能力を育てたり、夏季休業中の前には2学年対象にAEDや応急処置の講習会を実施する。</u>生徒委員会活動の充実を努め、成果を高める。保健だよりの内容を工夫し、生徒の興味関心を深める。
		重点3	
		重点8	

項 目		目標・方針及び計画	
3	進路支援	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の自己実現のために、自己理解と自己受容を実現する中で、進路の獲得を目指す。 ・学校全体での組織的、計画的かつ効率的なキャリア教育を行う進路指導体制を確立する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">重点4①</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">重点4②</div>	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>自己理解と自己受容を実現する中、自己の適性に合った進路選択ができ、かつ満足できるよう進路情報、進路状況の提供</u>を機会あるごとに行い、受験に関する学習意識の向上を図る。 ・受験に必要な教科科目の学習、小論文指導の方針、面接の指導方法等について共通理解を図り、教職員全体で協力し、より効果的、効率的な指導を行う。 ・<u>就職採用試験についても、同様の受験指導を行う。</u>
4	特別活動	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や部活動を通し、自律的・自主的な生活態度を養う。 ・豊かな人間性を身につけ、社会の一員として強く生きていくことのできる「人」を育てる。 ・読書への関心・意欲を高め、読書の習慣化を推進する。 ・図書館行事のさらなる充実を図り、学校における文化・教養の場としての役割を担う。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">重点2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">重点7①</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">重点7②</div>	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会の役員を中心に、行事の運営委員会やリーダー研修会を開催し、生徒の企画力・指導力を養うとともに、円滑な行事運営を目指す。 ・部活動指導上の諸問題について検討し、<u>競技力の向上や充実した部活動の運営を目指す。</u> ・<u>授業での図書館利用が円滑に行われるように、図書資料を充実させる。また、教科との連携を密にする。</u> ・図書館主催行事の日程、内容を工夫し、生徒が興味関心をもって参加できるよう企画する。
5	その他	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と学校がお互いに連携を強め、学校教育に対する共通理解のもと、PTA活動の活性化を目指す。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">重点9①</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">重点9②</div>	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの定期総会・各事業の内容を、より魅力あるものに改善する。 ・PTA諸会議・行事の<u>日時設定を工夫</u>し、保護者が参加しやすい環境を整える。 ・保護者へのアンケート結果を踏まえてPTA会員全体に関わる行事の内容を企画立案し、<u>満足度を高める。</u>

(様式3)

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

平成27年度 富山商業高等学校アクションプラン —1—		
重点項目	学習活動	
重点課題	教科指導の充実と確かな学力の向上	
現 状	・生徒の学習意欲や学習理解度に差が見受けられる。そのため、各教科において指導内容や指導方法の改善を図ることにより、生徒に意欲をもって授業に取り組み、確かな学力を身につけさせることが必要である。	
達成目標	(結果目標) ①指導力の向上を意識した授業改善	(結果目標) ②学習意欲の向上
	(行動目標) 他の教員の授業を、年間3回以上参観する。 (先生も学び合い)	(行動目標) 生徒間で、学び合い教え合いを各自10回以上行う。
方 策	・互見授業週間(年3回)を定め、その間に他の教員の授業を3回以上参観する。 ・参観者は、互見授業シートを記入し自らの授業改善に資する。 ・授業実施者は、参観者の感想・助言を参考に授業改善に取り組む。	・生徒が、学習に関して、わからないことや他の意見・考えを友達同士で教え合う「生徒学び合い週間」(年3回)を定め、期間中には10回以上行わせる。 ・各期間後に学び合いシートを提出させる。

平成27年度 富山商業高等学校アクションプラン —2—		
重点項目	特別活動	
重点課題	部活動の活性化と競技力の向上	
現 状	・本校は運動部17、文化部11の計28部が設置されており、全員部活動制である。 ・運動部・文化部ともに多くの部が、県大会優勝や全国大会入賞を目指して熱心に部活動に取り組んでいる。昨年度は運動部の全国大会での入賞や活躍、世界大会への出場など成果を上げた。また、商業科種目の文化部の全国大会への連続出場など活躍した。	
達成目標	①全国大会出場生徒の割合 (大会出場エントリー者の延べ人数÷全校生徒数×100%)	②北信越大会出場生徒の割合
	15～22%	30%以上
方 策	・部活動の一層の活性化を図るため、各部におけるトレーニング講習会や技術講習会の充実を目指す。特に競技力向上に努める。 ・生徒のストレス無く部活動を行うために、部活動の環境整備に努める。	

平成27年度 富山商業高等学校アクションプラン —3—

重点項目	学校生活
重点課題	「富山商業高校いじめ防止基本方針」に基づいたいじめの防止と意識の向上
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・集団に溶け込めず、孤立がちな生徒が少なからず見られる。 ・部活動・学年・学科・出身中学等様々な要素を含みながら、程度の差はあるものの、様々な形態でトラブルが発生している。 ・悪ふざけやちょっとした悪戯のつもりが人間関係を壊したり、人を傷つけたりすることに気付いていない、または軽く考えている生徒がいる。 ・毎年、ネットパトロールから、生徒の不適切な書き込み等の連絡がある。
達成目標	いじめに関するアンケートで「いじめに関わっていない」と答えた生徒の割合 95%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・月一に行われる全校集会（頭髪服装検査）の折にいじめ防止について呼びかける。 ・各種講話をおこない、身近な事件・事故や事例を知るとともに、ルールやマナーの意識を高め、互いを尊重する気持ちや、いのちを守る態度を身につけることが、いじめの無い学校生活を築くことを理解させる。 ・各学期末にいじめに関するアンケートを行い、いじめ防止の意識を喚起する。

平成27年度 富山商業高等学校アクションプラン —4—

重点項目	進路支援	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の個性や適性を知り、能力に合った進路選択 ・職業観・勤労観を身に付けさせ、社会状況の変化に対応した進路指導 ・進路指導の組織的・計画的な取り組みを通して、効果的な支援策の施行 	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・職業観・勤労観に関する意識が希薄な生徒は進路選択が遅れる。 ・自らの進路をあまり深く考えず、安易な選択を望む生徒が見られる。 ・ここ数年、就職を希望する生徒が多くなっている。 ・憧れと自己の実力が見合わないままに、進路選択を行い、結果に苦慮する生徒がいる。 	
達成目標	①生徒の進路満足度（卒業時）	②就職者の内定率
	98%以上	100%
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・進学希望や就職希望の如何を問わず、自分の将来を主体的に考えさせ、短絡的ではない進路選択を行うよう指導する。 ・個人面接・ホームルーム・進路説明会を通じて、生徒の志望の実態を把握し、家庭との共通理解を図る。その際生徒・保護者に適切な情報を提供できるよう資料の充実を図る。 ・進路意識の啓発やその実現を目指し目標に向かって努力する生徒に対して、全教員による面接指導や個別学力補充の場を提供する。 ・進学から就職、就職から進学といった志望変更が安易な形で行われることの無いよう、生徒と十分に話し合い自分の考えを確立させミスマッチのない進路選択につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が志望動機について、深く考えた上で就職と向き合うための方策として応募前見学等を積極的に勧め、雇用のミスマッチを避ける。 ・生徒の選択の幅を広げるために、教職員による企業訪問をより積極的に行い、求人開拓を行う。 ・希望企業への実践的な面接対策や基本的な学力指導を行い、選考の際に実力が発揮できるようにする。 ・企業やハローワーク等の連携を強化し、就職に関する情報の収集に努め、適切な提供を行う。公務員志望者については、模擬試験や、専門学校が実施するセミナーなども積極的に活用させる。

平成27年度 富山商業高等学校アクションプラン —5—

重点項目	学習活動
重点課題	検定・資格取得の充実
現 状	<p><平成26年度 全商主催検定1級種目別合格者数> 延べ480名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・珠算・電卓実務検定 (159名) ・ビジネス文書検定 (46名) ・簿記実務検定 (108名) ・英語検定 (8名) ・情報処理検定ビジュ初部門 (48名) プログラミング部門 (15名) ・商業経済検定 (96名)
達成目標	全商主催の各種検定1級合格 延べ合格者数
	延べ480名以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・検定取得の達成目標をもたせることにより、生徒の学習意欲を喚起する。 ・基礎基本の着実な定着を図るとともに、生徒の能力を最大限に伸ばすための学習指導体制を充実する。 ・1月に行われる検定については、補習授業を行い、学力の向上を目指す。

平成27年度 富山商業高等学校アクションプラン —6—

重点項目	学習活動	
重点課題	「模擬株式会社 TOMI SHOP」を通して体験学習の充実	
現 状	仕入先研修体験学習や「模擬株式会社TOMI SHOP」の運営を起業家教育や進路学習に役立てている。	
達成目標	① 社会人基礎力「3つの能力/12の能力要素」	② 「模擬株式会社 TOMI SHOP」の満足度 (お客様・生徒)
	自己の3段階評価 A30%以上 B70%以上	満足以上の割合90%以上 大変満足の割合60%以上
方 策	<p>(1) 「TOMI SHOP特別授業」の改善 「TOMI SHOP特別授業」を実施し、「TOMI SHOP」に向けて必要な知識を生徒に理解させる。授業後にアンケートを実施し、生徒の変化を把握して取り組みに生かす。</p> <p>(2) 仕入先研修体験学習 「TOMI SHOP」の協力企業先で研修を行うことにより、商人のあり方を学び、その成果を「TOMI SHOP」の経営に生かす。</p> <p>(3) 模擬株式会社「TOMI SHOP」(起業家の育成) ・模擬株式会社を設立し、会社組織で店舗経営や販売活動を行う。 ・「株主総会」において営業報告、決算報告、利益処分を行う。</p> <p>(4) キャリアガイダンスの実施 地元経済団体との連携により、勤労観、職業観を育成し、問題解決能力を育て、地域社会に貢献できる職業人の育成を目指すとともに、キャリア教育の充実を図る。</p>	

平成27年度 富山商業高等学校アクションプラン —7—		
重点項目	特別活動	
重点課題	読書への関心・意欲を高め、読書習慣をつけさせる。	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 雑誌の利用を中心に昼休みの来館者は増えてきている一方で、全く利用しない生徒も多く、読書の動機付けとなる様々な工夫が必要である。 昨年度は7教科197時間の授業で図書館の利用があったので、今後も、より一層の利用を呼びかけていきたい。 	
達成目標	① 1ヶ月平均の図書館入館者数(延べ人数)	② 授業での図書館利用時間
	400人以上(4月～1月)	年間 190時間以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> 図書や雑誌の購入にあたり、生徒や教員の希望をより多く取り入れ利用を促進する。 授業で図書室を利用された先生方に協力を得て、調べ学習用の蔵書の充実に努める。 教科や学年と連携を深め、小論文関連本や進路関係の資料・情報などを積極的に提供していく。 より多くの生徒に図書館を利用してもらうよう、本や行事のPRの方法を工夫する。 	

平成27年度 富山商業高等学校アクションプラン —8—		
重点項目	学校生活	
重点課題	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入と学校管理下における災害発生状況の調査および事故防止の徹底を図る。	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入率は100%を維持しているが、加入は任意になっており掛け金や保護者の同意書が必要のため毎年苦慮している。 事故防止の徹底を図るために県や国の事例や発生率を調査し、生徒や授業担当者等への注意喚起や指導に生かしたい。 	
達成目標	①加入率の維持	②事故発生率の減少
	100%	9.5%以内(昨年度10.15%:78件)
方 策	<ul style="list-style-type: none"> 加入に関しては入学式後に保護者へ直接呼びかけをする。 生徒の心身の発育や発達や体力、技能等を把握して練習計画を立てるとともに、生徒自身が危険を予知したり、回避したりできるように指導育成する。 通学路の安全対策(危険箇所の確認と安全マップの作成)をする。 	

平成27年度 富山商業高等学校アクションプラン —9—		
重点項目	その他	
重点課題	PTA活動への関心を高め、自主的・積極的な参加を推進する	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> PTA総会への出席率は、3学年の進路説明会を同時開催することで50%を超える水準となったが、今後もより多くの会員に出席してもらいたい。 PTA視察研修の満足度は約80%、食堂利用体験は90%を超えるものであった。 	
達成目標	①PTA総会への出席率	②PTA視察研修事業・食堂利用体験の満足度
	50%以上	90%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> PTA定期総会の土曜日実施と1・2年生の授業参観・学年別懇談会の同日実施を継続するとともに、3年生は昨年度と同様に進路説明会を同日実施することで保護者の日程的な負担を軽減、定期総会への参加率向上も図る。また、駐車場確保など保護者が参加しやすくなる環境を整える。 PTA視察研修先の事前アンケートと事後アンケートを継続実施し、その内容を踏まえて、より魅力ある研修会となるよう計画を立案する。また、食堂利用体験についても、事後アンケートを参考に、より満足度を高められる計画とする。 	

